

—(譯 邦 木 々 佐)—

各國滑稽小説

定價金五拾錢
(郵稅六錢)

「いたづら小僧日記」を譯し「おてんば娘日記」を譯して、天下に其名を知られた佐々木氏の手記、新たに「各國滑稽小説」と云ふ數卷の叢書が出来ると聞いて、早耳筋の賣捌書店では既に舊臘から翹望して居た。書店に待たれる様な本で、讀者に取つて大に讀み甲斐の有る本でないといふタメシは無い。譯者半歳の努力の結果、茲に其の第一編を出す運びとなつたが、原作者との名に見ても、内容の充實に於て寧ろ大に「いたづら小僧日記」などに優るもの有るを知るに足るべく、慰樂の爲めに文學を求めざる者に取つて、斯の如く興味多き書は世に類ひ無からうと信ずる。

一	千萬圓	(亞米利加、マニラ)	五	變物	(伊太利、アミー)
二	錢	(露西亞、ステツ)	六	ス物語	(佛西蘭、ナサー)
三	小共和國	(和蘭、ハルレル)	七	忠義者	(愛爾蘭)
四	領收控帳	(西班牙、アラル)	八	求婚	(獨逸、フオルク)

行發會協版出外内町鳴巢京東

著 橋 浮 野 夢

笑話五百題

錢四稅郵 錢五拾貳金價定 附ながりふ總

夢野浮橋は文壇の老大家なり、其の人元來才華爛漫、口を開けば便ち滑稽の妙を極めたる笑話混々然として溢れて出で來り、久しくして愈々其の妙を加ふ、蓋し自らにして然るなり。今茲に其の著はす所の『笑話五百題』版成る。「話」は固より所謂「一口噺」の類に屬するもの最も多しと雖も、又必ずしも之を一口噺と謂ふべからずして、巧妙を極めたる笑話少からず、長短又おの／＼等しからず、而も是れ悉く外史の新作にして、其の取材の範圍の廣き、讀む者をして滑稽の天地も亦大なる哉の感あらしむ。邦諺に曰く「笑ふ門には福來る」と、西諺に曰く「滑稽はもろ／＼の不幸を攘ひ去る所の大風なり」と。嗚呼滑稽なる哉。笑なる哉。諸君乞ふ此の書を読め。

行發會協版出外内町鳴巢京東

—[譯 邦 木 々 佐]—

いたづら小僧日記

(第二十版)
定價金四拾錢
(郵税四錢)

續いたづら小僧日記

(第八版)
定價金參拾錢
(郵税四錢)

いたづら小僧のいたづら日記なり。夏目漱石氏の「我輩ハ猫デアル」と同工にして異曲。其奇想天外より落ちて人の頤を解かしむるは此れ却ッて彼に優る所あり。天下の奇書なり……

(東京朝日新聞)

おてんば娘日記

(第十一版)
定價金參拾錢
(郵税四錢)

「いたづら小僧日記」の姉妹書なり。面白きこと彼と同じく、天下の奇書たること彼に等しく、而も其の限りなき面白味が彼とは全く別様なり。

行 發 會 協 版 出 外 内 鴨 巢 京 東

宮崎
三味
道人
編著

笑 話 日 本 一

定價金貳拾錢
郵税貳錢

「桃太郎さんく、何方へ」、「鬼が嶋へ寶物を取りに行く」、「お腰につけてあるのは、何でございますか」、「日本一の黍團子」、「一つおくりやれ、お供を申さう」、「それ遣る」といふ工合にして行々手下をこしらへ、桃から生れた桃太郎は、黍團子が資本で夥多の寶を獲ました。諸君に黍團子のお持合せは有りませぬが、僅か白銅貨四個を御奮發になれば、小説壇の老將宮崎三味道人の新著なる此の面白い笑話集「日本一」が直にお手に入ります。黍團子の味は固より日本一、此の書の面白いことも日本一です。

行 發 會 協 版 出 外 内 町 鴨 巢 京 東

高橋太華編

類題狂歌大全

定價金拾錢 郵稅四錢

古今夷曲後撰夷曲の二集世に出でしより以來
 寛政文化の末に至るまで狂歌集の刊行せられ
 たるもの其幾百なるを知らず其間變遷あり盛
 衰あり又人々の嗜好時勢の趨向によりて其風
 調其姿致に於て千種萬様喜ぶべきあり厭ふべ
 きあり取るべきあり捨つべきあり味ふべきあ
 り解すべからざるあり誦すべきあり讀むべきあ
 りへざるあるは亦已むを得ざるなり本書は
 古今の狂歌書百三十餘種を涉獵し其中に
 就いて今人の諷誦して能く其妙を玩味す
 るに堪ふべきもの凡そ二千五百餘首
 を抄出し題に依りて之を類別したるものなり
 狂歌を學ばんとする諸君の座右に備ふべきは
 論なし其道に意なき人雖も問餘時に之を繙
 かば奇思横生覺えず獨り自ら抱腹絶倒するも
 のあらん學に業に倦厭の時之を讀まば以て其
 心機を一轉すべく氣屈し心勞するの時之を開
 かば机上にて其鬱を散じ其精神を復活せし
 めん亦不可ならざる旅に伴ひ車上舟中之を繙
 誦す亦妙ならずか

東京巢鴨内出版協會發行

都々逸俗謠川柳

花月情史編著

都々逸及俗謠集

新刊 定價金廿五錢 郵稅四錢

都々逸の性質、種類、歴史、都々逸と關係ある徳川時代俗
 謠の各體等を詳説し、終に明治以前の都々逸、明治の都々逸
 投節、盆踊唄、潮來節、等の佳作を博羅全集して附録とす。
 蓋し近來の珍書なり。

嬰庭篁村 小栗風葉 阪井久良岐 序
 花岡百樹 編

川柳類纂 再版

定價金廿五錢 郵稅四錢

小栗風葉氏序文の一節

博覽精攻、取捨嚴密、彼の孟浪杜撰なるものと自ら其撰
 を異にして、句々悉く是珠玉の聯繫茲に三千餘、此集出
 で、始めて斯界の權威を得たりと謂つべきなり。

東京巢鴨内出版協會發行

前代未聞一大奇書

伊國カグリオスロト伯爵原著

西洋獨占

(第十八版)

定價金廿五錢 郵稅四錢

『萬朝報』

其占ひ方は婦女子にても 何にても當

ること實に不思議なり 原理は茲に説くに及 此書

が人を驚かすの力あるを紹介す

『二六新報』 是は日本に有ふれた占ひ愉快不思

議の珍本であらば 違つて最も趣味ある愉快不思

『中央新聞』 原著者が獨得なる不可思議の頭腦

發百中恐るべく尊びべき珍書なり

『横濱貿易新聞』 著者は十八世紀頃各朝廷にさへ

科學者にて名をギユセツプ、バルサモと云ひ殊にガユ

マの小説中には好個の資料を供したる所謂カグリオス

トロ伯爵にして一時歐洲の社會は彼を魔術師となし或

學者の如きは本書を以て「豫言者の文」となすに至りし

が爾來廣く歐洲の國語に譯され居たるを今度出版者は

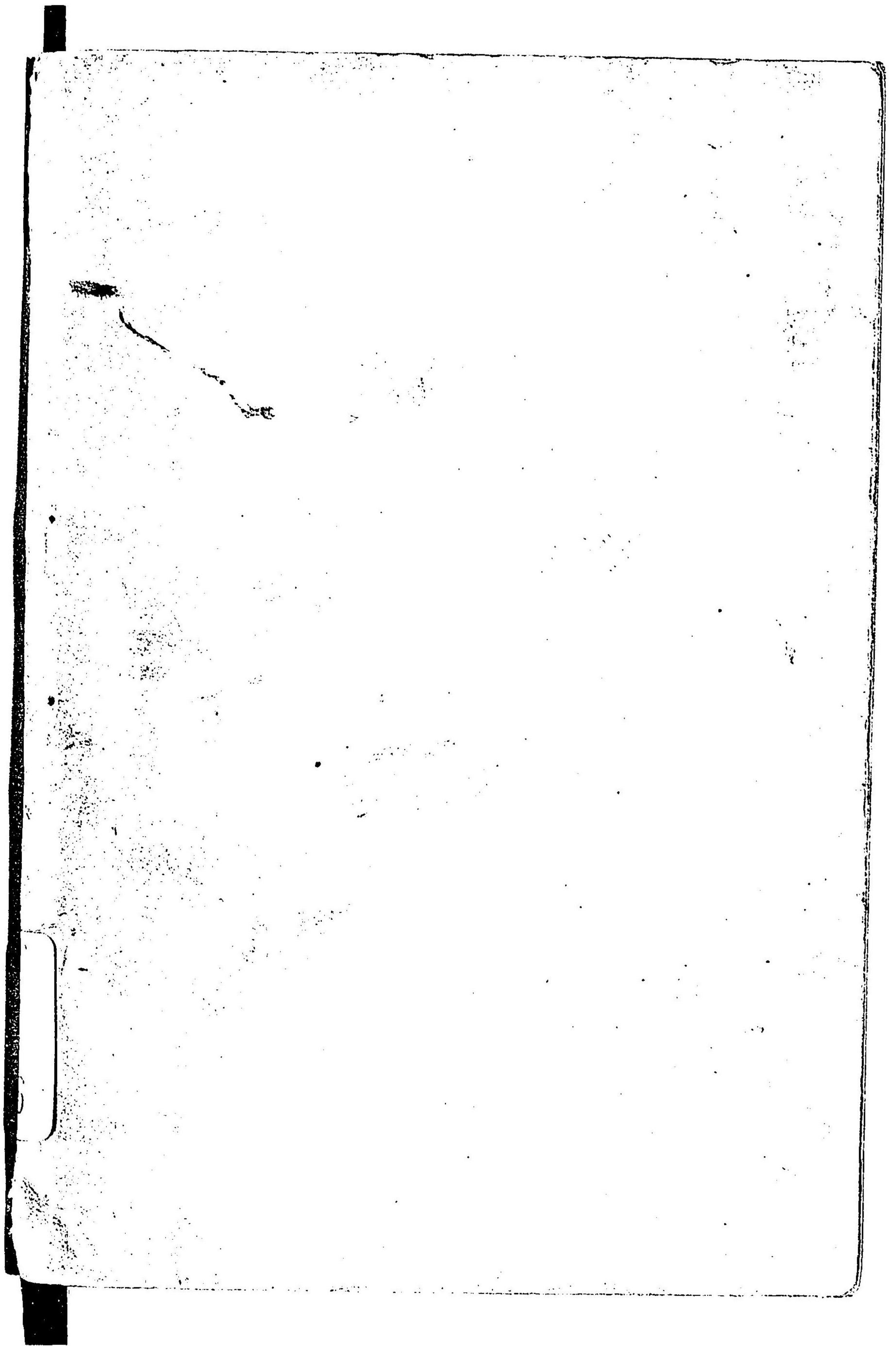
特に伊太利の原本に因り翻譯したる物、若し一本を購ふ

て一度之を實驗せば如何に懷疑的頭腦を有する本邦人

の如き適中の不思議なるに一驚すべし

東京集鴨 內外出版協會發行

261
473



府

笑



らくのひらめ



091901-000-9

特63-246

笑府

夢野浮橋/編

M43

DBO-0438

